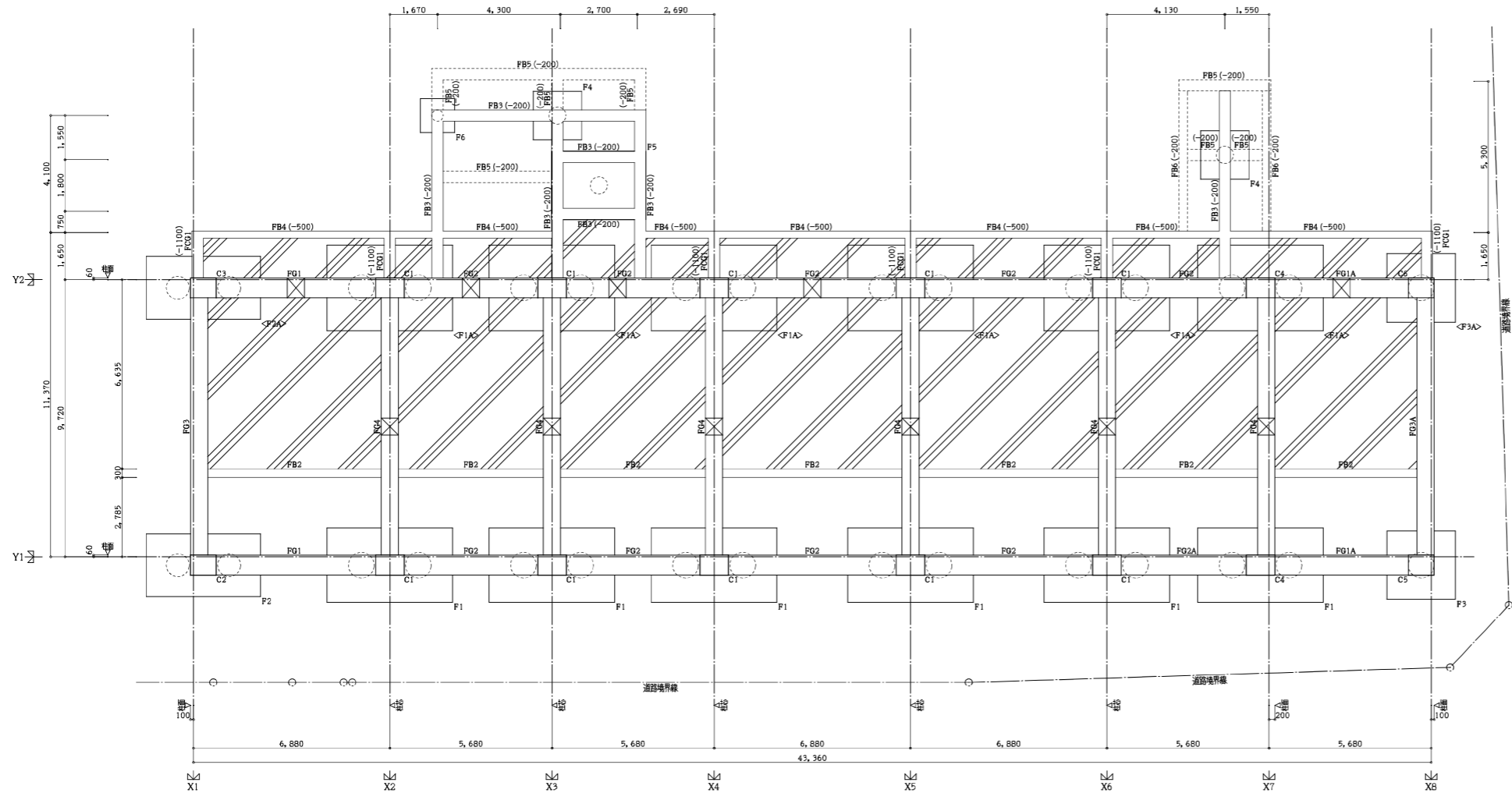


特記事項	
1. コンクリート強度	Fc30 (基礎、床スラブ) Fc27 (2階柱・R階床) Fc18 (土間コンクリート)
2. 鉄筋	SD390 (D29以上) SD345 (D19~D25) SD295A (D16以下) KSS785又はリバーボーン785 (S13)

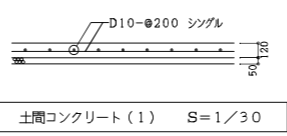
部 位	最小のり厚	
	室内	室外
自社工事に接しない部分	屋根、床スラブ	20
	非耐力壁	30
自社工事に接する部分	柱、梁、耐力壁	40
	屋根、床スラブ	40
	柱、梁、耐力壁	60

※設計かぶり厚は最小かぶり厚に1cm加えた数値とする。
(設計かぶり厚=設計かぶり厚(ベアー・キャップ等)とする。)
外壁の厚さに着する部分にモルタル塗り等の処理をした場合は1cm減らすことができる。
※コンクリートの仕様はJASS5(2009年版)に準拠する
セメント : 普通ポルトランドセメント
水セメント比 : 50%以下(住宅性能基準等3等級)
コンクリート強度 : 設計基準強度 Fc=27~30N/mm²
スラブ厚 : 18cm以下
コンクリート中の単位水重量 : 185kg/m³以下
コンクリート中の空気量 : 4%~6%
コンクリートの充填方法等 JASS5-7箇に準拠



基礎伏図 S=1/100

特記なき限り下記による	
○	基礎高は Z0~2600 とする
○	< >付付号は 基礎高 Z0~3100 とする
○	地中梁天端は Z0+200 とする
○	()内は Z0からの天端レベルを示す
□	土間コンクリート(1)範囲を示す 天端レベルは Z0-1100 とする
⊗	人通り600φを示す 原則として 位置は 地中梁中央付近(L0/4を外した部分)に設けること
○	設置場所は、技術仕様等取得した現況調査報告書とし、調査の条件範囲内で使用する(人通りは除く)



鉄筋コンクリート 適用は●印記入する。

- (1) コンクリート
- コンクリートはJIS認定工場製品とし、混合・加工及び養生に関してはJASS5(2009)及びJIS A5308による。
 - 耐久設計基準強度 Fd ○短期 ○長期 ○超長期
 - 品質基準強度は 設計基準強度又は 耐久設計基準強度の大きい方の値とする。
 - セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 - 骨材は、川砂利(8)及び山砂利(砕石、砕砂)を標準とする。鉄筋用塩化及びせき取と同等の量にもなるべきであること。また、嵩収縮低減剤等の使用は、かつ、当該コンクリートに必要な強度、耐久性及び収縮低減剤等を得るものであること。
 - 養生方法は、上水導水を標準とする。
 - 凍融試験は、AE減水剤、ならびに高性能AE減水剤はJIS A6204に、流動化剤はJASS5 5T-402に、防凍剤はJIS A6205に適合するものとする。
 - 凍融試験は、フリーズ・チンク、凍結及び解凍サイクル試験は、それぞれJIS A6201、JIS A6202及びJIS A6206に適合するものとする。
 - 混合計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。
 - 途中、途中、その他特種コンクリートの適用を受ける場合には、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。
 - フレッシュコンクリートの品質検査は、原則として工事現場で(財)国土院技術センターの検査官による試験を行い、試験結果を記載及び試験の一部の試験ごとに撮影した写真(カラー)を併記し承認を得る。
 - 測定回数については、通常のコンクリートの場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定数は、同一試料から取り分けて3回以内、その平均値を採用する。
 - 凍結コンクリートについては、凍結の試験は凍結試験機(JASS5T-603)は、現場水中養生または現場養生養生とし、採取は打ち込み直後とし、打ち込み直後とする。また、打ち込み量が150m³を超える場合は、150m³ごとに、その凍結ごとに1回を標準とする。1回に採取する試料は、凍結の試験機を用いた3つの凍結機から必要本数を採取する。なお、凍結の試験は、特別な場合は、1回90分以内とし、そのうち4回を用いる。
 - ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできる限り圧入して、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない程度とする。ポンプ圧送機は、コンクリート圧送機または同等以上の性能を有する者が使用すること。なお、打ち込み機中における打ち込み時間あたりの量は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分とする。
 - コンクリート打ち込み直後5日間は、コンクリートの強度を下げないようにし、かつ、乾燥、震動等によってコンクリートの凍結及び破損が起らないように養生しなければならない。
 - 高強度コンクリートは 国土交通大臣が指定する材料として認定した製造工場とする。
 - コンクリートの品質・検査・施工及び養生については JASS5(2009)による。
 - 高強度コンクリートの品質管理・検査は JASS5(2009)による。

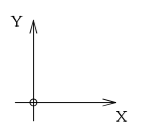
- (2) 型枠
- 材料 合板厚 12mmを標準とする。
 - 施工はJASS5による。
 - 型枠検査項目

項目	せき板		スラブ、はり下		スラブ		支柱	
	普通ポルトランドセメント	高強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	高強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	高強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	高強度ポルトランドセメント
コンクリートの圧縮強度	15%以上	2	3	4	6	8	17	28
	5%~15%	3	5	6	10	12	25	28
	5%未満	5	8	10	16	15	28	28
							設計基準強度の85%	設計基準強度の100%

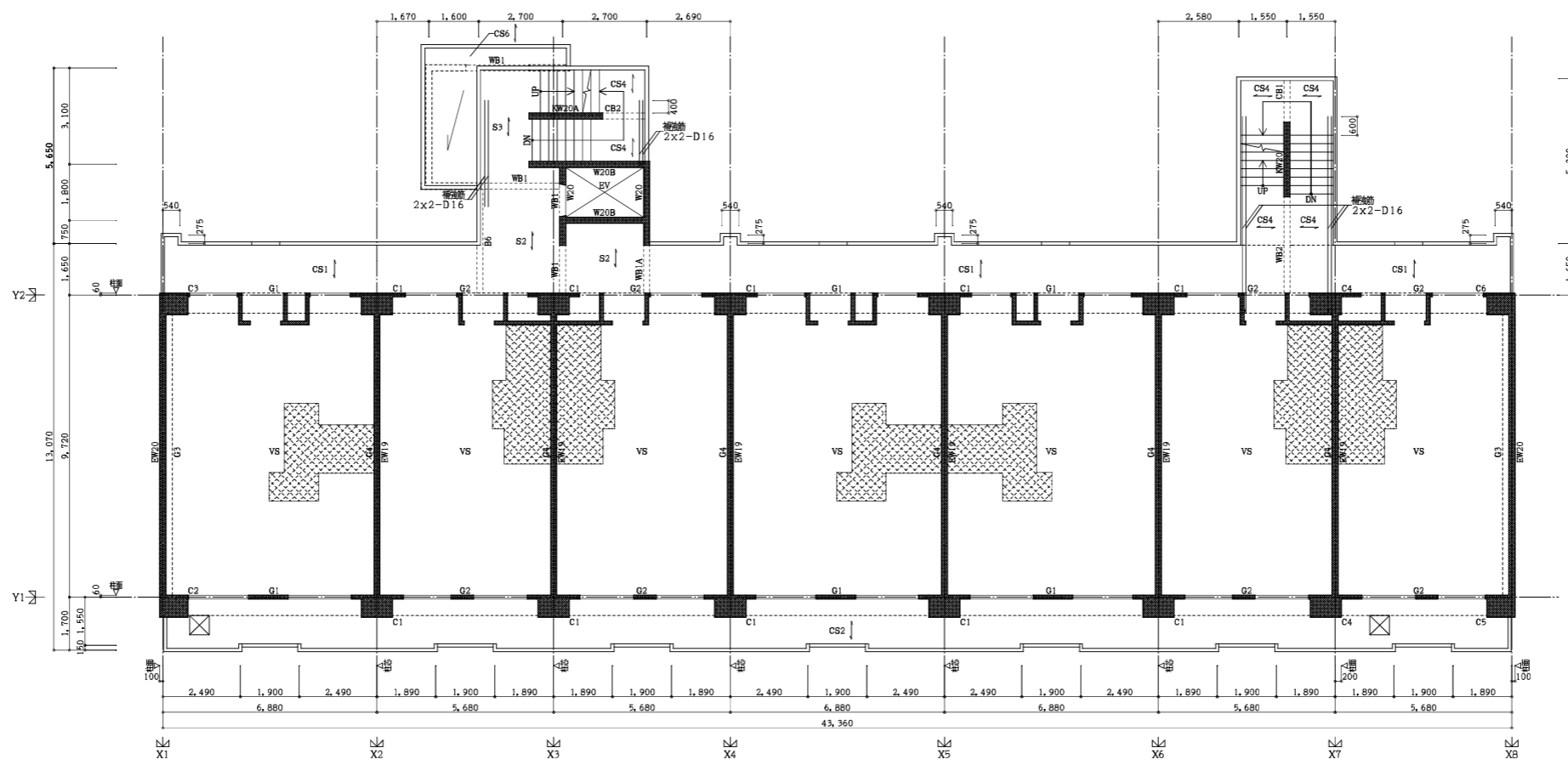
注) 1 片持ちり、E、スパン、0m以上の場合は、工事監督者の指示による。
注) 2 大径の支柱の耐力は示されていない。また、その他耐力の欄も示されていない。
注) 3 支柱の耐力は、必ず直上層のコンクリート打ち厚とする。
注) 4 重りかきの使用には、重り、角材などは、これに代わるものを使う。
注) 5 支柱の耐力は、水の荷重で、スパンを、
一般に全部の支柱を取り分けて、重りかきしてはならない。
注) 6 上記以外のセメントを使用する場合は、工事監督者の指示による。

建築物の構造安全性などに関する規定(建築基準法令第129条の2の4の規定)

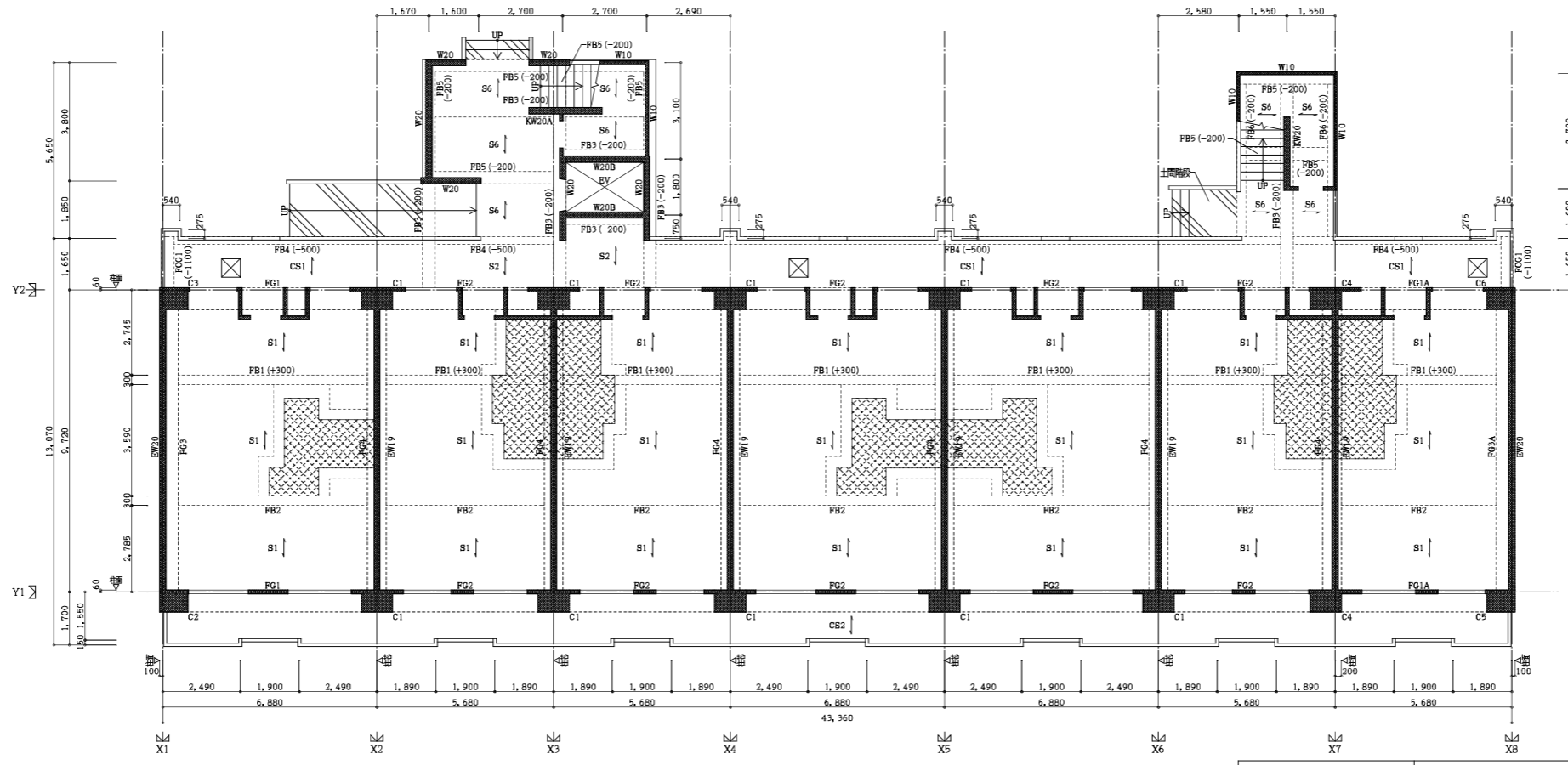
- 建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
- *設計が該当する場合には、□を■とする。
- 建築設備(昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び管架金物は、腐食又は破損のおそれがないものとする。
 - 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上重要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上重要な部分に、取付すること。
 - 煙突の屋上突出部の表は、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は鉄筋コンクリート造の場合は鉄筋の支持を設けたものを除き、90cm以下とすること。
 - 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さは5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造もしくはコンクリートブロック造とすること。
 - 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全な支保がない構造とすること。
 - 建築物の部分を貫通して設置する場合には、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の震動防止のための措置を講ずること。
 - 管の衝撃その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な震動防止のための措置を講ずること。
 - 管を支持し、又は固定する場合には、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
 - 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1369号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
 - 給湯設備は、支持構造部及び管架金物を腐食または破損のおそれがないものとするほか、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全な支保がない構造とすること。
 - 質量が15kgを超える給湯設備は国土交通省告示第1368号第5に規定するアンカーボルトをつり金物に取付し、支持構造部に取付すること。



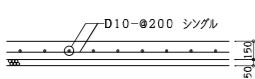
有限会社 青木設計工房	九尺設計 株式会社	株式会社 山田設計	西春住宅建築工事(第3工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 第145569号 構造設計一級建築士 登録番号 第7442号 青木 稔	一級建築士 登録番号 第291158号 構造設計一級建築士 登録番号 第2086号 鈴木 夕夏	一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	基礎伏図 A1: 1/100 A3: 1/200	NO. 64
検 製 図	検 製 図	検 製 図	設計 H27年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課



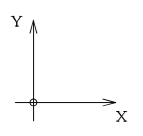
- 2階床伏図 S=1/100
- 特記なき限り下記による
- 壁は W12 とする
 - 耐震スリット (完全スリット) は 軸組図 による
 - 梁天端は Z2±0 とする
 - スラブ天端は Z2±0 とする
 - [ハatched] 部分は スラブ段差 Z2-100 を示す
 - → ↓ は 主動方向 を示す
 - 建築通則は、技術指針等を取得した建築検査物とし、評議の条件範囲内で使用すること



- 1階床伏図 S=1/100
- 特記なき限り下記による
- 壁は W12 とする
 - 耐震スリット (完全スリット) は 軸組図 による
 - 地中梁天端は Z0+200 とする
 - () 内は Z0からの深さレベル を示す
 - スラブ天端は Z1±0 とする
 - [ハatched] 部分は スラブ段差 Z1-100 を示す
 - [Diagonal Lines] は 土間コンクリート (2) 範囲 を示す
 - → ↓ は 主動方向 を示す
 - 建築通則は、技術指針等を取得した建築検査物とし、評議の条件範囲内で使用すること



土間コンクリート (2) S=1/30

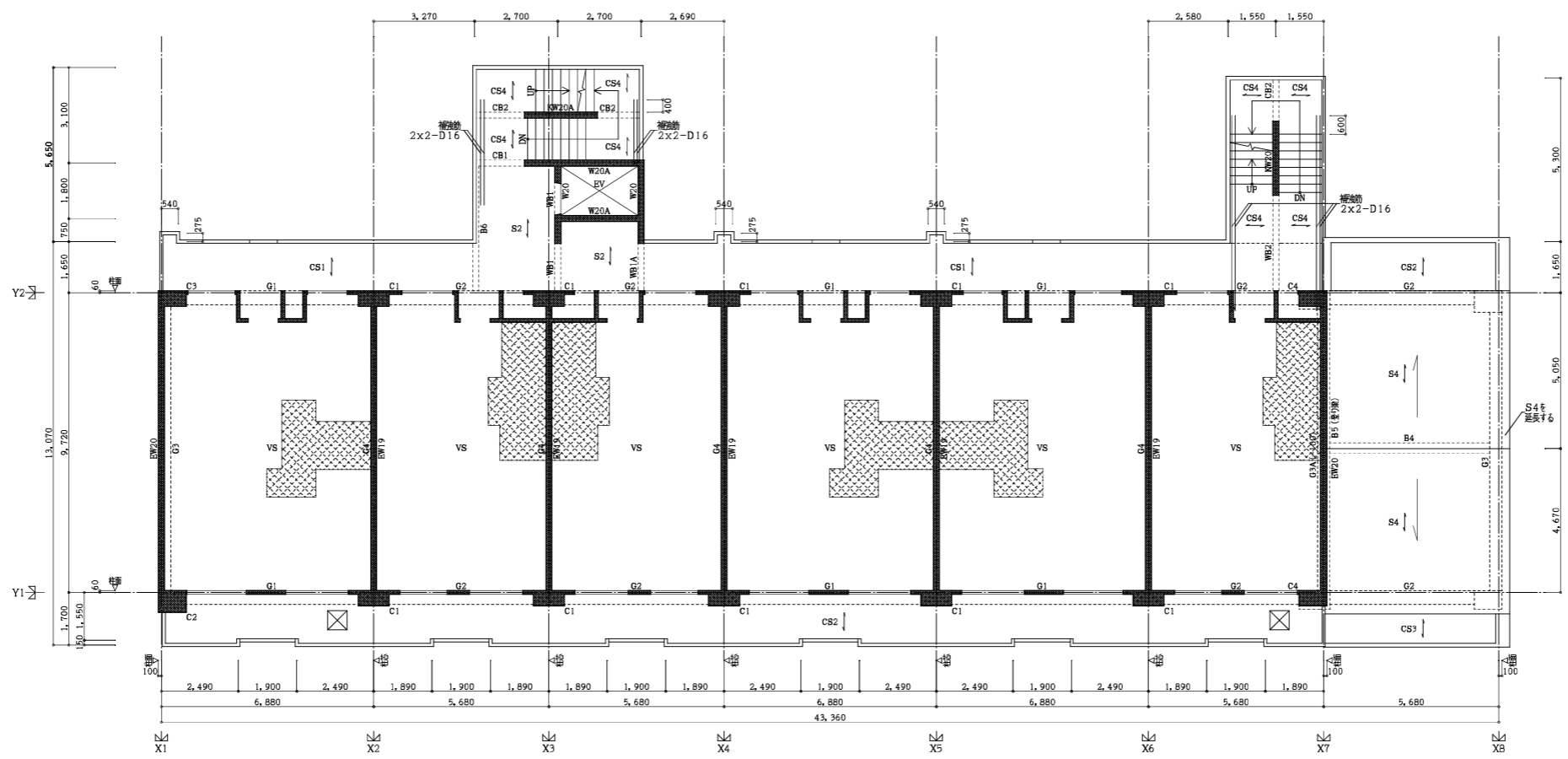


有限会社 青木設計工房 一般建築士 登録番号 第145060号 構造設計一般建築士 登録番号 第7442号 青木 稔	九尺設計 株式会社 一般建築士 登録番号 第291158号 構造設計一般建築士 登録番号 第2086号 鈴木 夕夏	株式会社 山田設計 一般建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	西春住宅建築工事 (第3工区) 1階床伏図, 2階床伏図 縮尺 A1: 1/100, A3: 1/200 図面番号 NO. 65
検 製 図 図	検 製 図 図	検 製 設 計 図 図	愛知県建設部建築局公営住宅課 H27年3月

7階伏図 S=1/100

特記なき限り下記による

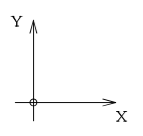
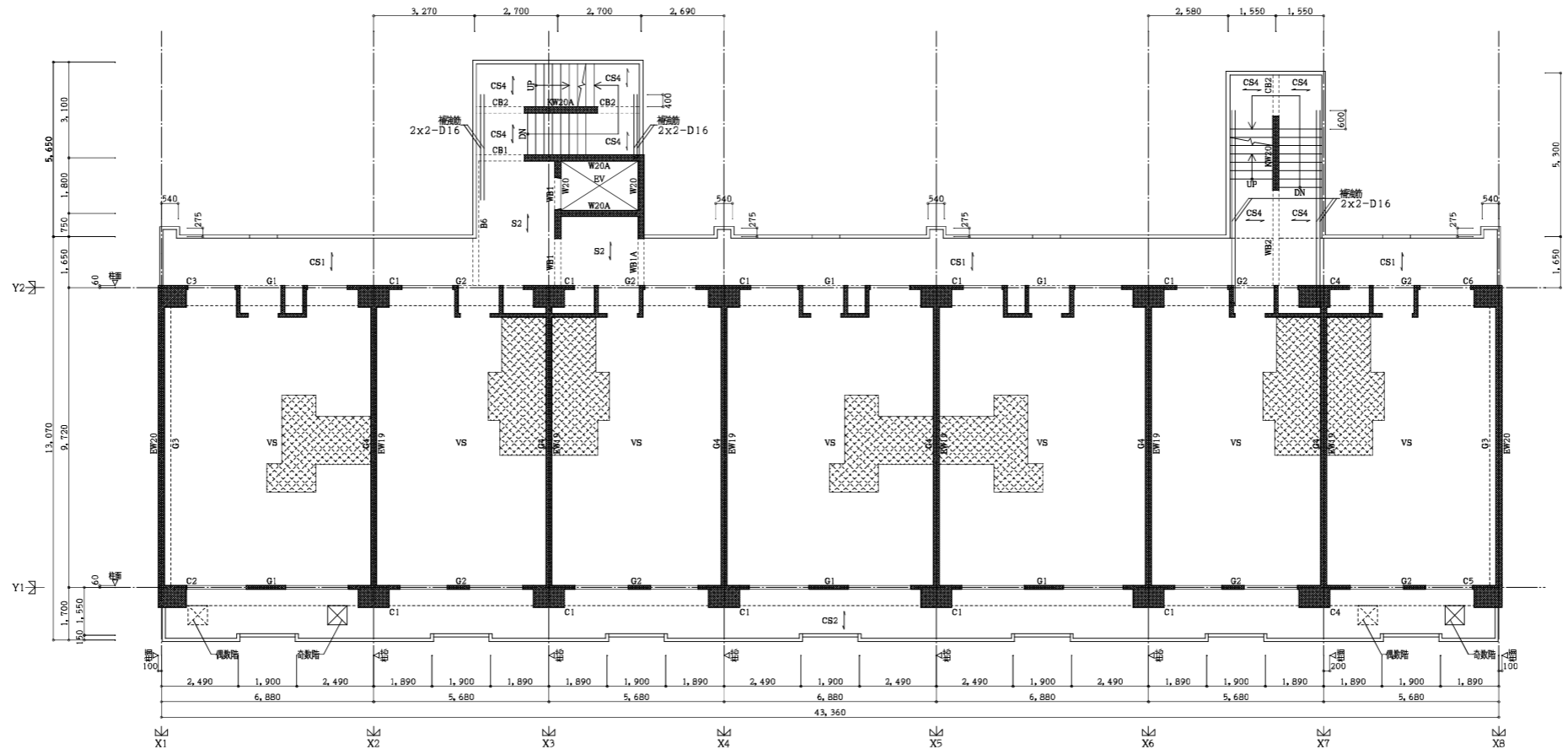
- 壁は W12 とする
- 筋交スリット(完全スリット)は 軸組図 による
- 梁天端は Z7±0 とする
- ()内は Z7からの天端レベルを示す
- スラブ天端は Z7±0 とする
- []内は スラブ段差 Z7-100 を示す
- → は 主筋方向を示す
- 建築通記は、技術仕様等を取得した建築標準図物とし、評議の条件範囲内で使用すること



3~6階伏図 S=1/100

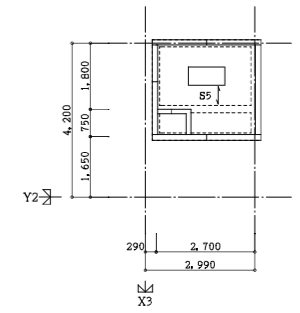
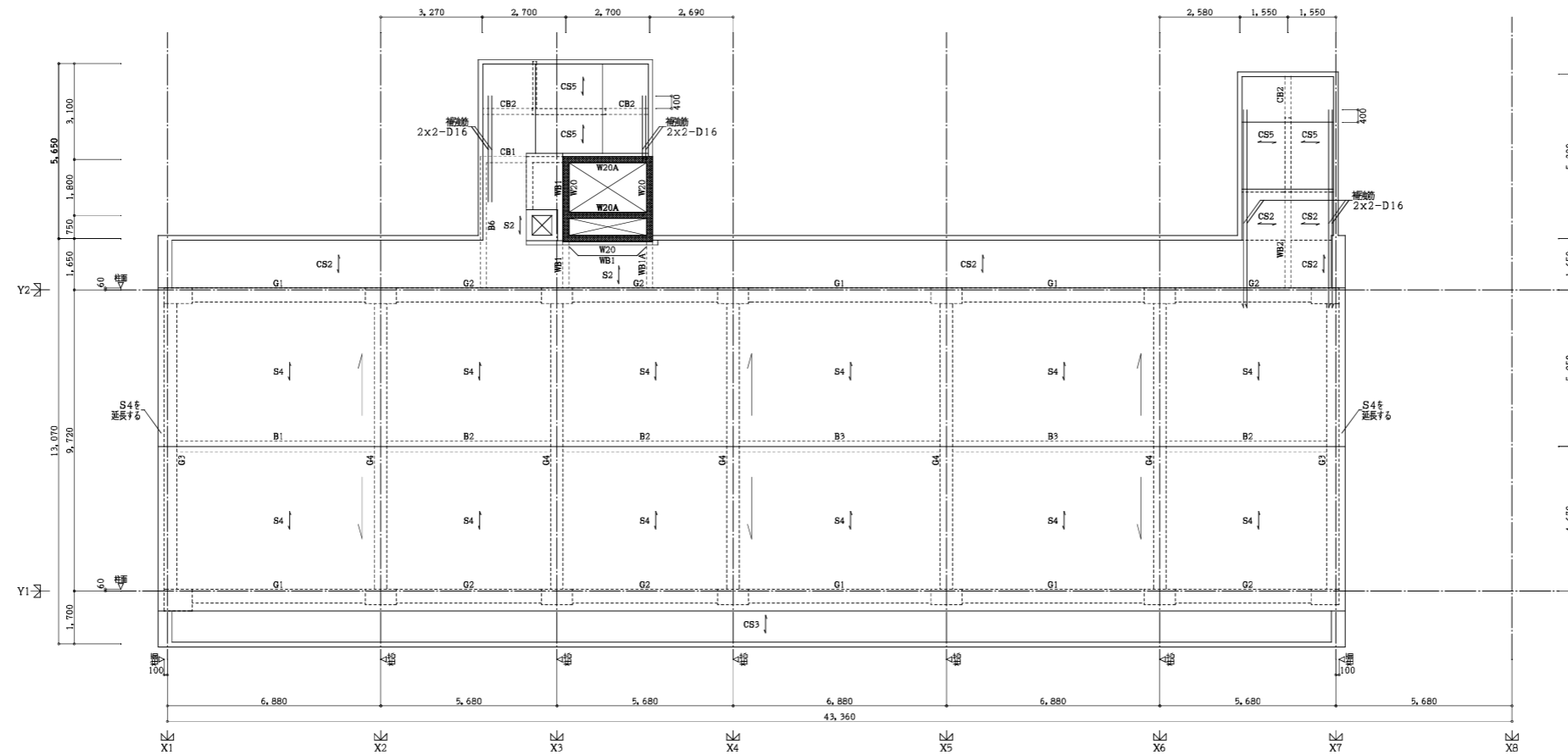
特記なき限り下記による

- 壁は W12 とする
- 筋交スリット(完全スリット)は 軸組図 による
- 梁天端は Zn±0 とする
- スラブ天端は Zn±0 とする
- []内は スラブ段差 Zn-100 を示す
- → は 主筋方向を示す
- 建築通記は、技術仕様等を取得した建築標準図物とし、評議の条件範囲内で使用すること



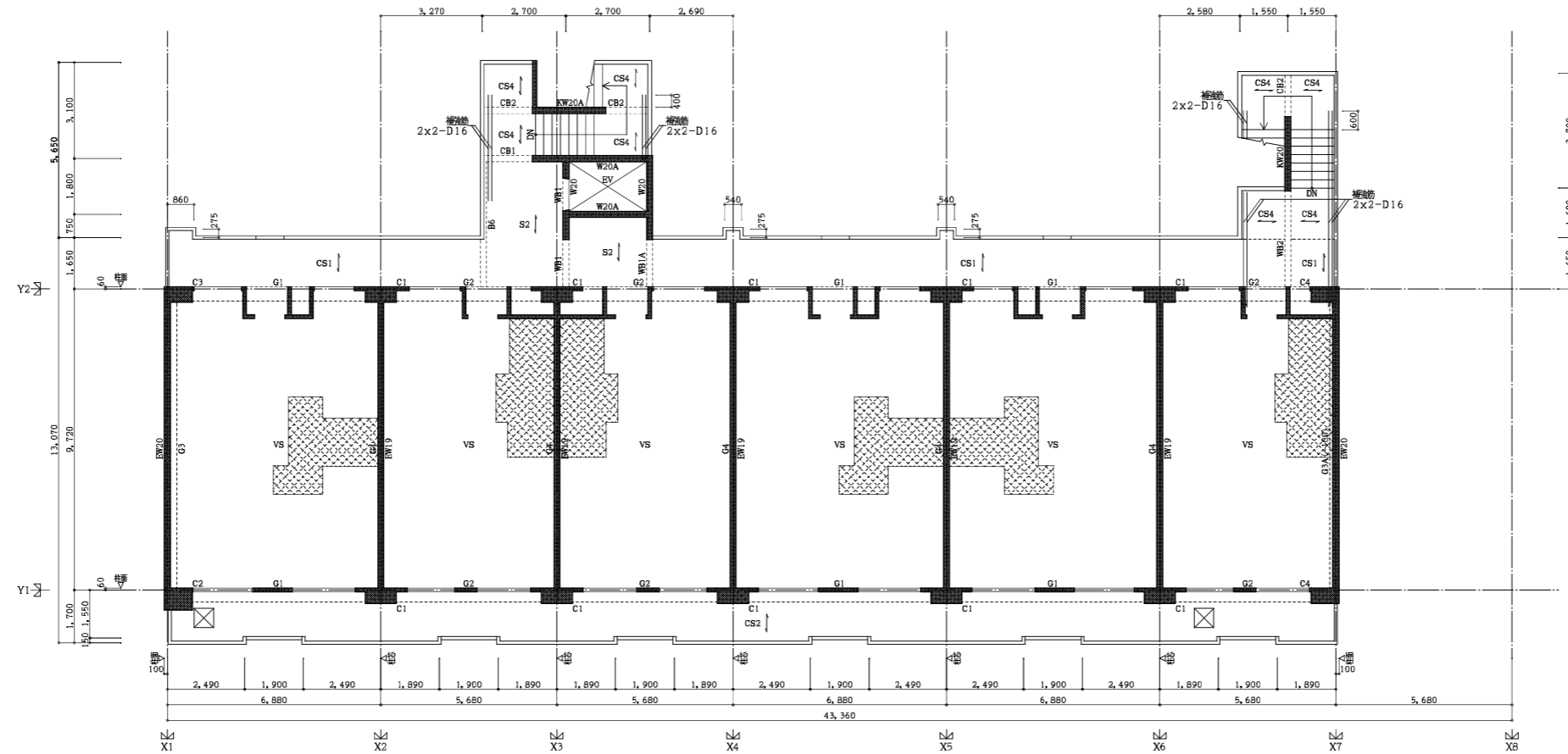
有限会社 青木設計工房 一般建築士 登録番号 第145060号 構造設計一般建築士 登録番号 第7442号 青木 稔	九尺設計 株式会社 一般建築士 登録番号 第291158号 構造設計一般建築士 登録番号 第2096号 鈴木 夕夏	株式会社 山田設計 一般建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	西春住宅建築工事(第3工区) 3~6階伏図, 7階伏図 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 NO. 66
検 図	製 図	検 図	製 図	設計
				H27年 3月

愛知県建設部建築局公営住宅課

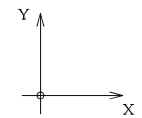


EV室オーバーヘッド部伏図 S=1/100

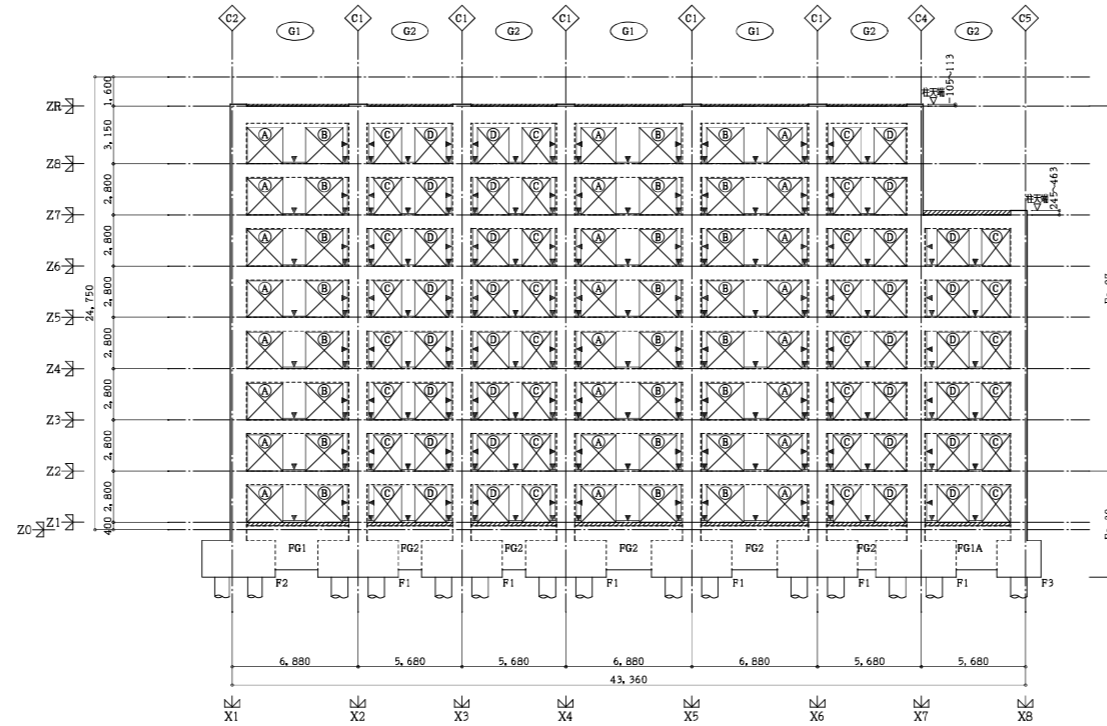
R階伏図 S=1/100
特記なき限り下記による
○ 梁天端は ZR±0 とする
○ スラブ天端は ZR±0 とする
○ — は 主筋方向 を示す
○ 梁貫通孔は、技術仕様等を取付した鋼製補強金物とし、評議の条件範囲内で使用すること



B階伏図 S=1/100
特記なき限り下記による
○ 壁は W12 とする
○ 階間スリット (完全スリット) は 軸組図 による
○ 梁天端は ZB±0 とする
○ () 内は ZBからの天端レベル を示す
○ スラブ天端は ZB±0 とする
○ [ハッチング] 部分は スラブ段差 ZB-100 を示す
○ — は 主筋方向 を示す
○ 梁貫通孔は、技術仕様等を取付した鋼製補強金物とし、評議の条件範囲内で使用すること

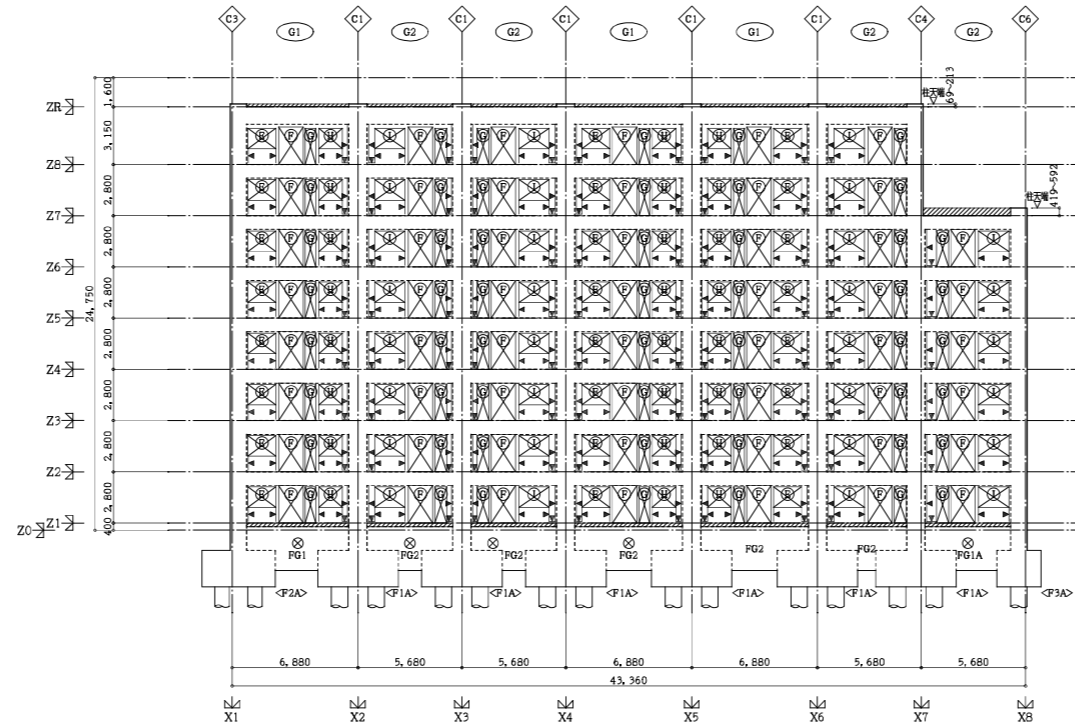


有限会社 青木設計工房 一般建築士 登録番号 第145060号 構造設計一般建築士 登録番号 第7442号 青木 稔	九尺設計 株式会社 一般建築士 登録番号 第291158号 構造設計一般建築士 登録番号 第2086号 鈴木 夕夏	株式会社 山田設計 一般建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	西春住宅建築工事 (第3工区) 8階伏図, R階伏図 縮尺 A1: 1/100, A3: 1/200	図面番号 NO. 67
検 製 図 図	検 製 図 図	検 製 設 計 H27年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	



Y1通り軸組図 S=1/200

- Ⓐ 開口寸法・・・2020×1985 建具寸法・・・1900×1800
- Ⓑ 開口寸法・・・1920×1985 建具寸法・・・1800×1800
- Ⓒ 開口寸法・・・1520×1985 建具寸法・・・1400×1800
- Ⓓ 開口寸法・・・1720×1985 建具寸法・・・1600×1800

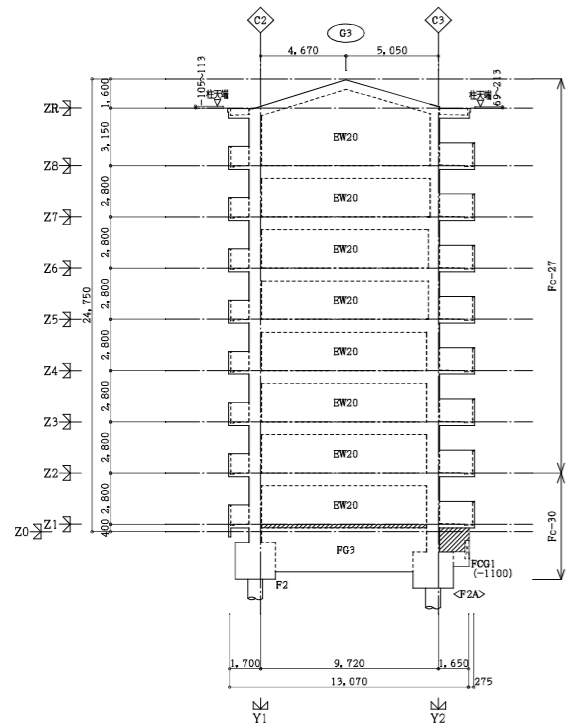


Y2通り軸組図 S=1/200

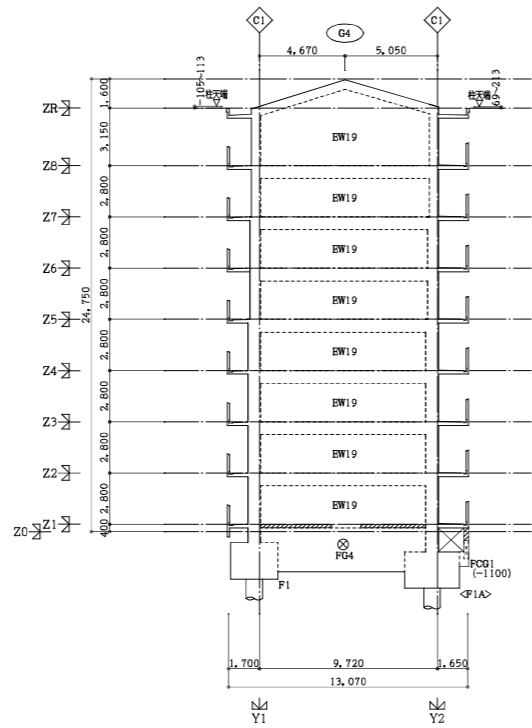
- Ⓔ 開口寸法・・・1440×1100 建具寸法・・・1320×950
- Ⓕ 開口寸法・・・1330×2050
- Ⓖ 開口寸法・・・650×1965 建具寸法・・・550×1800
- Ⓗ 開口寸法・・・1120×1100 建具寸法・・・1000×950
- Ⓘ 開口寸法・・・1640×1100 建具寸法・・・1520×950

特記なき限り下記による	
○	基礎底は Z0-2600 とする
< >	付符号は 基礎高 Z0-3100 とする
○	地中梁天端は Z0+200 とする
○	壁は W12 とする
▼	は 縦断スリット (完全スリット) を示す
○	梁天端は Z±0 とする
○	開口位置は 変形図 による
⊗	は 人通り600φ を示す
▨	は 打増 を示す

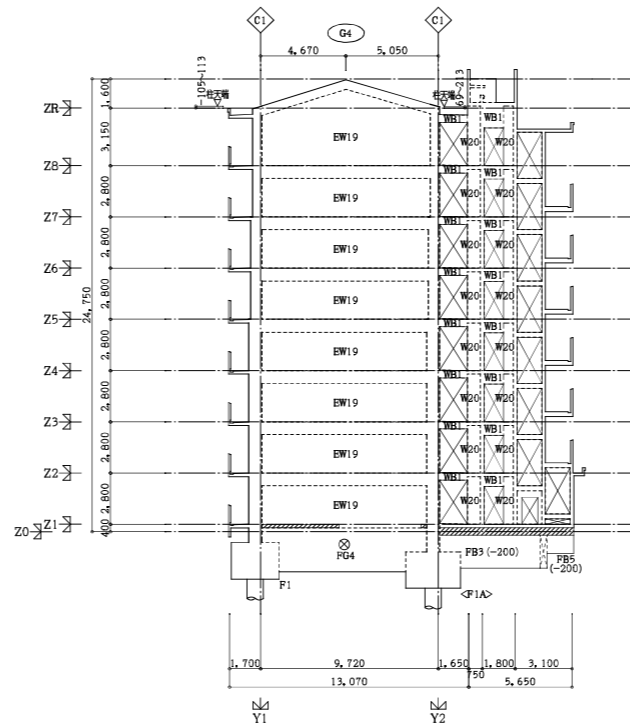
有限会社 青木設計工房	九尺設計 株式会社	株式会社 山田設計	西春住宅建築工事 (第3工区)	図面番号
一般建築士 登録番号 第145060号 構造設計一般建築士 登録番号 第7442号 青木 稔	一般建築士 登録番号 第291158号 構造設計一般建築士 登録番号 第2086号 鈴木 夕夏	一般建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	棟 尺 輪組図 (1) A1: 1/200 A3: 1/400	NO. 6 B
検 製	検 製	検 製 設 計	愛知県建設部建築局公営住宅課	
図 図	図 図	図 図 図	H27年 3月	



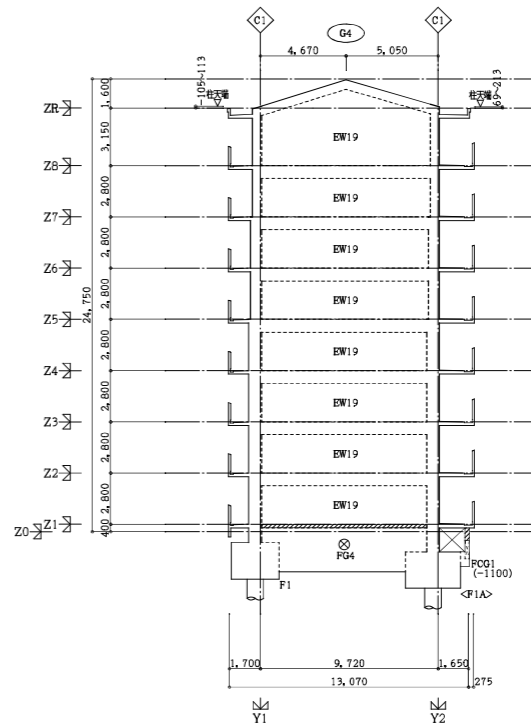
X1通り軸組図 S=1/200



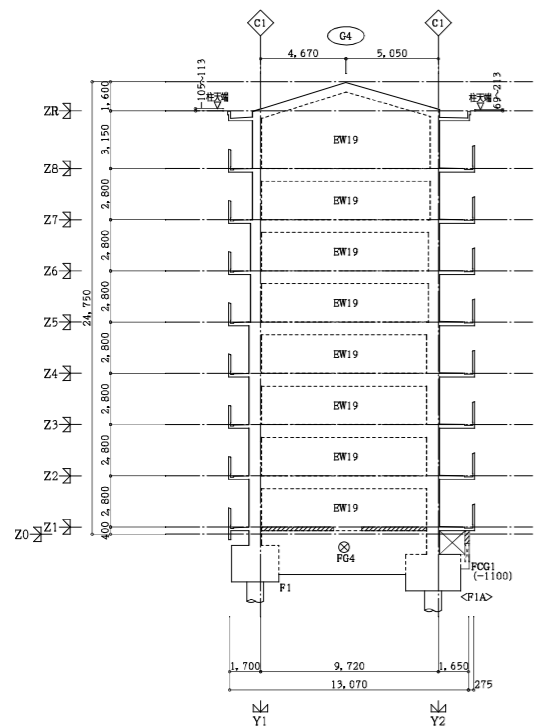
X2通り軸組図 S=1/200



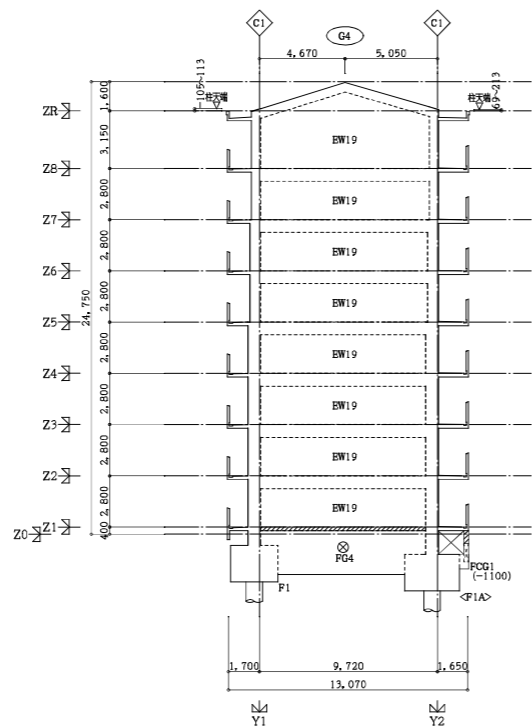
X3通り軸組図 S=1/200



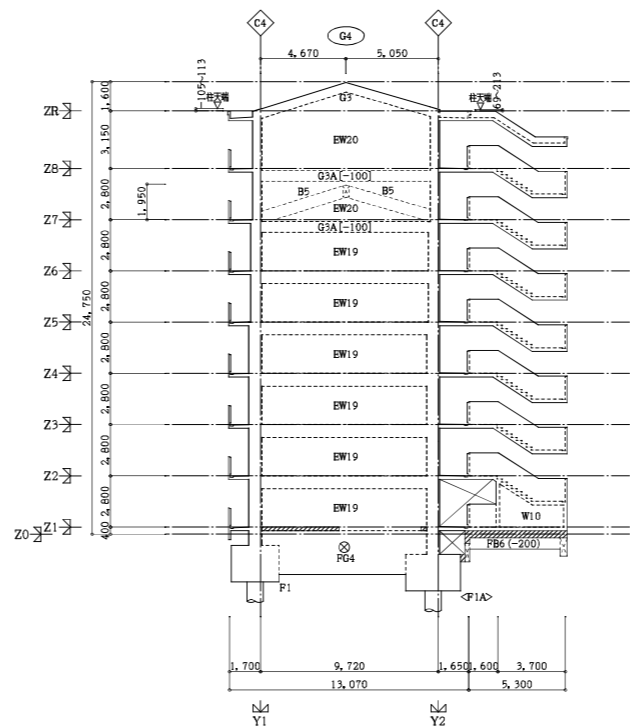
X4通り軸組図 S=1/200



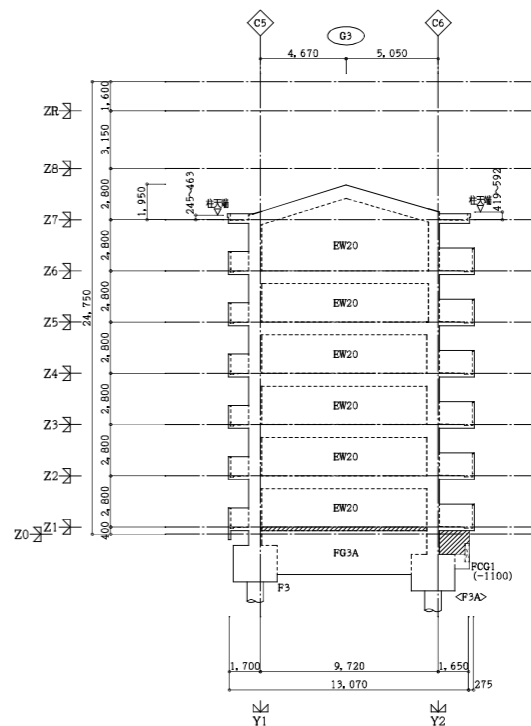
X5通り軸組図 S=1/200



X6通り軸組図 S=1/200



X7通り軸組図 S=1/200

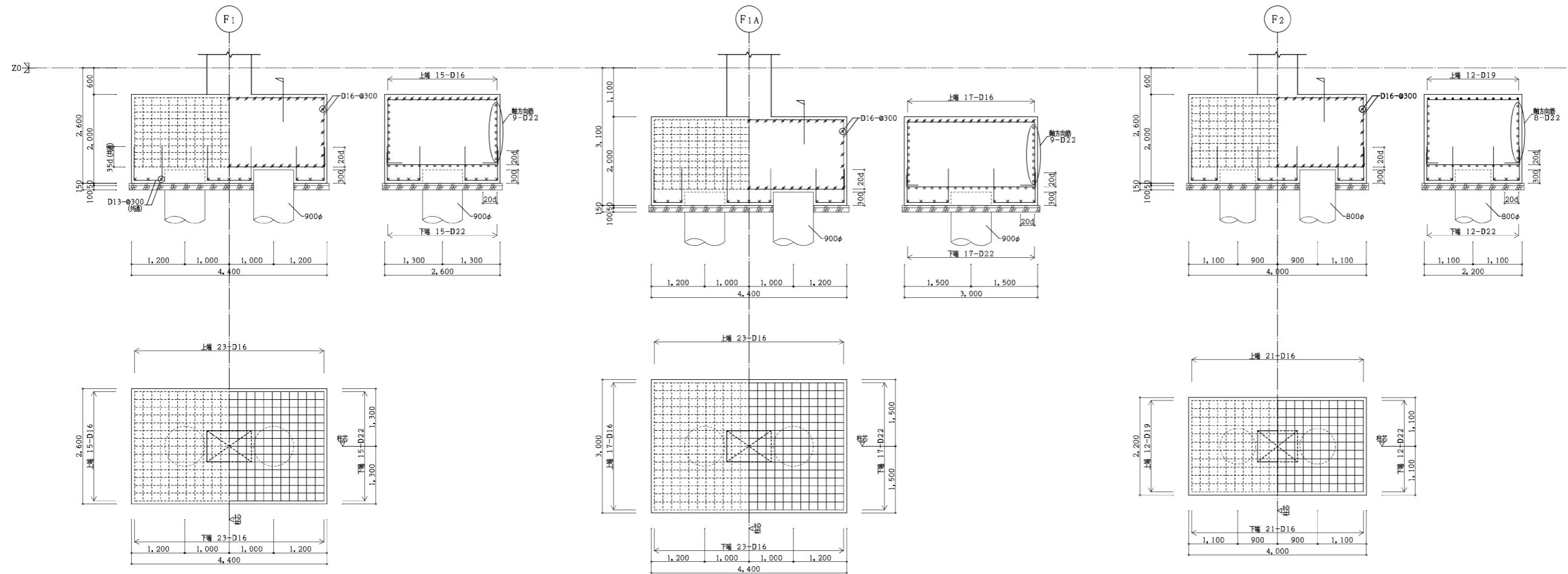


X8通り軸組図 S=1/200

- 特記なき限り下記による
- 基礎面は Z0-2600 とする
 - < >付符号は 基礎面 Z0-3100 とする
 - 地中梁天端は Z0+200 とする
 - ()内は Z0からの天端レベル を示す
 - 壁は W12 とする
 - 梁天端は Zn±0 とする
 - []内は Znからの天端レベル を示す
 - 開口位置は 断面図 による
 - ⊗ は 人通り600φ を示す
 - ▨ は 打増 を示す

有限会社 青木設計工房	九尺設計 株式会社	株式会社 山田設計	西春住宅建築工事 (第3工区)	図面番号
一般建築士 登録番号 第145060号 構造設計一般建築士 登録番号 第7442号 青木 稔	一般建築士 登録番号 第21158号 構造設計一般建築士 登録番号 第2086号 鈴木 夕夏	一般建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	軸組図 (2)	NO. 69
検 図	検 図	検 図	縮 尺 A1: 1/200 A3: 1/400	
製 図	製 図	設 計	27年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課

基礎リスト(1) S=1/50



地中梁リスト S=1/50

・巾止筋は D10-φ1000以内 とする

符号	FG 1	FG 1A	FG 2	FG 2A	FG 3	FG 3A	FG 4	FCG 1	FB 1	FB 2	FB 3	FB 4	FB 5	FB 6
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面														
B x D	700 x 2400	700 x 2400	700 x 2400	700 x 2400	600 x 2400	600 x 2400	600 x 2400	400 x 800	300 x 700	300 x 1450	400 x 1800	250 x 1000	400 x 1000	300 x 600
上 端 筋	13 - D 29	9 - D 29	9 - D 29	9 - D 29	10 - D 29	7 - D 29	13 - D 29	4 - D 22	3 - D 22	3 - D 19	4 - D 25	2 - D 22	4 - D 22	3 - D 19
下 端 筋	12 - D 29	10 - D 29	8 - D 29	11 - D 29	10 - D 29	6 - D 29	13 - D 29	3 - D 22	3 - D 22	3 - D 19	4 - D 25	2 - D 22	4 - D 22	3 - D 19
S T P	□-D13-φ150	□-D13-φ150	□-D13-φ150	□-D13-φ150	□-D13-φ200	□-D13-φ200	□-D13-φ200	□-D13-φ200	□-D10-φ200	□-D13-φ200	□-D13-φ200	□-D13-φ200	□-D13-φ200	□-D10-φ200
腰 筋	7 x 2 - D 13	7 x 2 - D 13	7 x 2 - D 13	7 x 2 - D 13	7 x 2 - D 13	7 x 2 - D 13	7 x 2 - D 13	2 - D 10	2 - D 10	5 x 2 - D 13	4 x 2 - D 10	3 x 2 - D 13	3 x 2 - D 10	2 - D 10

有限会社 青木設計工房 一般建築士 登録番号 第145060号 構造設計一般建築士 登録番号 第7442号 青木 稔	九尺設計 株式会社 一般建築士 登録番号 第291158号 構造設計一般建築士 登録番号 第2086号 鈴木 夕夏	株式会社 山田設計 一般建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	西春住宅建築工事(第3工区) 基礎リスト(1). 地中梁リスト 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 NO.70
検 製 図 図	検 製 図 図	検 製 設 計 図 図	愛知県建設部建築局公営住宅課 H27年3月	